

「建交労とうきょう」はい
つでもみなさまからの記事
や写真を待っています。
（メール）tohonbukenkouro@sm
ile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労 CTG・とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる（〒60円）

東京都は充分な補償を！新型コロナウイルス対策を求め要請実施

7月5日、遠藤書記長・石塚副委員長3名は東京都産業労働局に7項目からなる「新型コロナウイルスに関する要請書」を提出しました。都内の建交労組合員の実情と声を小池都知事宛に届けるのが目的です。

雇用調整助成金特例で雇用をつなぎ、打ち切られたら解雇せざるを得ないと通告されている職場の例をあげ、特例延長を国に働きかけるよう求めました。また、エッセンシャルワーカーの中でも見過ごされがちな公園清掃労働者の苦勞

4. ゴミ収集について家庭、事業、産業廃棄物を問わず、ゴミを出す利用者、収集する運転手、作業員の感染防止のため、ゴミの出し方についての注意喚起を環境省と連携し都民への周知を強めてください。
5. 東京都発注の様々な委託業務について、発注並びに支払いに延期が生じた案件については労働者の技術者単価を基準にそれぞれの契約内容に応じて遅延した分を補填して下さい。
6. 建設資材納入の遅れや感染拡大の懸念から建設現場を止めざるを得ない際は、発注者に対し、工事費の出来高払いを推奨するよう発注者団体や国に要請して下さい。また、工期の延長に伴い発生する追加経費については、発注者や元請ゼネコンだけの負担とならないよう、補償制度を策定するよう国に要請して下さい。
7. 学童保育所は、コロナ禍の拡大の中で、労働者の働く権利と子どもたちの生活を守るために大きな役割を果たしましたが、一方で劣悪な実態であることが明らかになりました。それを踏まえ、国が予算化している補助金を各自自治体で活用できるように積極的に案内し、都としても予算化していきましょう。また、「放課後児童支援等処遇改善臨時特例事業」がすべての指導員に行き渡るようにするために、国に対し再度の申請交付をするように働きかけてください。

以上

2022年7月6日

東京都知事
小池百合子 殿

全日本建設交通一般労働組合東京都本部
執行委員長 松田 隆浩

新型コロナウイルスに関する要請書

貴職の日々のご精励に敬意を表します。全日本建設交通一般労働組合東京都本部は、トラック・清掃・鉄道・バス・建設関連・ビルメン・公園清掃で働く高齢者・生コン・学童保育など多業種のエッセンシャルワーカーが加盟する労働組合です。新型コロナウイルスに関する、都内で働く組合員の諸要求について要請します。

記

1. 自治体、あるいは民間の取引先にて、業務縮小、操業停止となった影響で、労働者が休業せざるを得ないケースが現在も発生しています。特にイベント関係の仕事が回復していません。
現状の雇用調整助成金特例処置では労働者への休業手当の補償は不十分です。事業者の負担無く労働者の収入がコロナ禍前と同程度補償されるよう、また拙速な特例処置廃止を行わないよう、事業継続、労働者の解雇防止の観点から、不足分を都が補償し、都として国の補償拡大を働きかけて下さい。
2. エッセンシャルワーカーの中でも、トラック・バス・生コン・ゴミ収集・鉄道関係・ビルメン・公園清掃で働く高齢者などの労働者は、東京都で本格的に感染拡大が始まった2020年3月以降から現在に至るまで、感染リスクを負いながら、人と人との接触を回避しようのない業務を行い、インフラ維持に大きく貢献してきました。
しかしながら人の移動・物流量の減少、燃料費高騰、自治体の予算減などの影響を受け、コロナ前と比較し待遇に大きく変化なし。あるいは収入減になるなど、貢献に対して報われない状態が続いています。
都はインフラ維持に貢献している労働者が大幅賃上げされるよう施策を講じ、また国にも同様の施策を行うよう働きかけてください。
3. ワクチン3回目接種が現役世代においても進んでいますが、ワクチン接種日、副反応が予想される次の日の休暇について、労働者自らの年次有給休暇を消化せざるを得ない、あるいは熱などの副反応の症状が現れても解熱剤等を服用し出勤せざるを得ない実態があります。
都はワクチン接種日、あるいは接種後に副反応が生じた労働者が休業した際に特別休暇を付与する事業者への補助金制度を新設し、国にも同様の施策を行うよう働きかけてください。また、既存の休暇制度の活用と副反応の症状が現れた労働者を無理に出社させないことを強く企業に求め、国にも働きかけてください。

東京都への要請内容

建設従事者の賃上げ処遇改善を！週休2日制を実現しよう！ 建設22春闘イエローアクション 建設首都圏共闘会議



新宿駅西口地下で開催しました



官民の労働組合が共同で取り組みました

（とりわけ喫煙所の清掃）や学童保育所の密接密集な保育の実態と指導員の劣悪な労働環境、ゴミ収集労働者の感染防止のためゴミの出し方の改良と周知を広める事等を短い時間で説明しましたが、都の担当者からも質問や共感する反応があり、要請を関係部署に伝える旨、約束を取り付けました。

建交労でなければ伝えられない労働者の実態があり、これからもしっかりと伝え働きかけていきたいと思います。

【都本部副委員長 清水文雄】

国土交通省など官の労働組合、全建設連に結集する民間の土建組合（首都圏の4土建）や建交労など、官民共同で組織する建設首都圏共闘会議は、6月6日（月）、新宿駅西口地下広場で建設従事者の処遇改善を求め「建設22春闘イエローアクション」を開催しました。松元議長（東京土建中央副執行委員長）は、現場労働者が長い期間低賃金で働いている事について触れ「建設業界で働く現場労働者は、製造業で働く労働者の平均賃金と比較して100万円低い年収となっている。30年間働いて30年前と変わらない給料の職人もいる。このような業界に若い人が入職するはずがない。公共工事設計労務単価が10年連続で引き上げられたにも関わらず、現場労働者に行き渡っていない。公契約法・公契約条例の制定や重層下請け構造の抜本的な改革が必要だ。このまま人手不足を放置すれば、建物が建たなくなる。魅力ある建設業界に変えていきましょう。」と訴えました。建交労からは中央本部廣瀬書記長が全国ダンプ部会の立場から、熱海で発生した盛り土問題やダンプ労働者の処遇改善を訴えました。東京建設・関連部会からは東宝サービス分会、建築設計支部いしずえ分会などの仲間が参加しました。

下げる消費税、インボイスは中止・延期だ！6.14集会 建設アクション実行委員会主催 日比谷野音にて

建設アクション実行委員会(四土建・一県連、国土交通労組、建交労等)を中心に消費税5%に下げる、インボイス制度の中止を訴える表記の集会を日比谷野音で開催し終了後は鍛冶橋駐車場付近までデモ行進を実施しました。開会あいさつでは「参院選では庶民の暮らしを守るために消費税減税やインボイス導入中止が問われる」こと強調しました。この集会は国会会期末

前日でもあります。主要各政党に集会参加を打診した結果、「消費税減税 野党共同法案」(消費税減税とインボイス制度廃止)を共同提出した野党4党(立憲民主、共産、れいわ、社民)が揃って参加し参院選での意思を明確に打ち出しました。さらに建設業だけではなく他業界含めた横断的な取り組みとなったこと、ツイッターデモ含め(三重県労 鈴鹿支部等も賛同)会場参加は出来なくても意思を示す個人・団体も多くSNSの効果もありました。集会には18団体・組合(京建労、福建労等)、1021人の参加で集



インボイス中止を訴える中央本部廣瀬書記長

会を成功させました(東京土建361人、神奈川県連・土建200人、埼玉土建223人、千葉土建81人、他多数)が参加しました。【建設産別ニュース NO.62より(発行:生公連)】

建築設計支部いしずえ分会 金田正夫 建築士 主催 ワークショップ 土壁塗り

建築設計支部いしずえ分会の金田正夫建築士によるワークショップは、先月の「竹小舞編む」から土壁を塗る作業に進みました。西東京市田無の住宅には、建築を学ぶ大学生や、技術習得のため来たというプロの職人さんなど含め約40名が参加しました。建交労東京からは東部支部の仲間や建築設計支部の仲間6名が参加し、コテを片手に土にまみれながら塗り作業を行いました。休憩時間には、金田さんによる建築と環境にまつ



レクチャーする金田正夫建築士(写真奥)

わる講義や質疑応答コーナーがあり、美味しいカレーやサンドイッチ、休憩時間にはお団子やお菓子が振る舞われました。丸善協賛の



最初は慣れない作業も徐々に上達しました！

オンライン連続無料講義「春夏秋冬のある暮らし」も是非ご参加下さい！【東京建設・関連部会 事務局長 笹原 和樹】

建設首都圏共闘会議省庁要請行動 厚生労働省・財務省・国土交通省

建設労働者の処遇改善などを求め、建設首都圏共闘会議は6月に厚労省と財務省へ、7月に国交省へそれぞれ要請行動を実施しました。建交労からは、2021年熱海で発生した土砂災害をきっかけに今年5月に成立した盛土規制法・付帯決議について要請しました。法案成立や付帯決議には、建交労のダンブ部会が議



7月6日(水)霞が関合同庁舎にて実施した
国交省要請行動

員レクチャーや国会参考人陳述を行うなど大きな役割を果たし、マスコミを通じて建設現場の発生土(残土)が民間の中間ストック場を経由し違法に処理されている実態がおおやけになりました。

組合掲示板

- 7月31日(日)14時～建交労東京学校第4回講座/ラパスホール(大塚駅)
- 8月4日(木)～9日(火)原水禁世界大会広島
- 8月27日(土)～28日(日)建交労中央定期大会/新潟県越後湯沢
- 9月11日(日)第25回建交労東京都本部定期大会/ティアラこうとう(都営新宿線・半蔵門線 住吉駅)

た。中央本部廣瀬書記長は「関係省庁は盛土規制法と付帯決議を遵守し更なる対策を講ずるべきだ。」と訴えました。【全国建設・関連部会 事務局長 笹原 和樹】

建交労フェスタin京都 6月10日～12日に参加して
新型コロナウイルスの影響で1年延期となった建交労フェスタ。前回の北海道開催から実に4年振りです。実行委員のメンバーだったため前日から京都に入りましたが、段取りに不安しかありませんでした。1日目は松元ヒロさんのショーや全労連小畑議長の話がありましたが、その間にも遅れて来た方の対応や、ホテルに送る荷物の搬出などの作業があり、コメディーショーは半分程しか観る事が出来ませんでした。2日目の青年部企画「大人の修学旅行」ではグループに分かれて陶芸体験、京

都観光を行いました。多くがはじめての方ばかりでしたが、皆わきあいあいと交流を深めていました。最終日には角田中央執行委員長を司会に、各業種部会から4名の代表をパネリストに迎えシンポジウムが行われ、11名からの決意表明がありました。トリアは、組員最高齢である広島島の廣木さん。久しぶりの廣木節に元気を貰えました。まだまだ元気で活躍して下さい。閉会後、撤収作業でゴミ拾いをして全日程を終了しました。最後に、今回のフェスタのポスターは、中央本部書記局の山内さんがデザインしたもので、素晴らしい出来で歴代フェスタのポス



先斗町 いづもやさんにて

ターの中でも最高と思います。是非、雑誌建交労バックナンバーの背表紙をもう一度見返して頂ければ幸いです。【東京青年部部長 秋山 哉保】